（標準様式第11号）

令和　7　年度　　指定管理施設評価分析書

1　管理業務の実績と評価分析

指定管理施設名	秋吉台国際芸術村			
指定管理者名	公益財団法人山口きらめき財団			
所管部署	教育委員会事務 局　　生涯学習スポーツ推進 課			
全指定期間	令和3年4月1日　～　令和8年3月31日			
管理業務の実施状況	指定管理業務	文化事業に関する業務	施設使用許可業務	施設設備維持管理業務
	業務内容	➤芸術に関する創作的活動の機会の提供に関する業務 ➤芸術に関する講習業務 ➤芸術に関する情報・資料の収集及び提供に関する業務 ➤芸術に係る人材育成及び交流促進に資するために必要な業務	➤施設の使用の許可に関する業務	➤施設及び設備の維持管理に関する業務 ➤その他、芸術村を管理するために必要な業務
	実施状況	➤各種文化事業が実施され、幅広い芸術分野の創作・表現活動や人材育成、地域交流の各事業が行われた。	➤施設使用許可業務が適切に行われた。 建物:762件 都市公園:1件	➤施設修繕等、施設の維持管理及び管理業務が適切に行われた。 ※9～11月下旬にかけて本館棟の空調設備改修工事を実施

施設利用実績	利用者数	令和　6　年度	35,752　人
		令和　7　年度	39,486　人
		増　減	3,734　人
	実績の分析	➤コロナの影響から未だ回復途上。平成30年からの趨勢比では、本館棟及び宿泊のみの利用者数は7割強程度。また、本館併用宿泊者数は7割強程度で回復は思わしくない。 ➤9～11月下旬にかけて本館棟の空調設備改修工事を実施したことが影響し、9～11月の建物使用許可件数は前年度比７２．４%減（213件減）。通年では前年度比２０．５%減（197件減）。 ➤前年度と比較し、本館棟利用率9.3%増、宿泊棟利用率2.1%増。ただし、利用率の増加は貸出可能日数（母数）が減少したことによるもので、利用日数、利用者数は減少。	

利用促進に向けた新たな取組	➤貸館サービスの強化としてキャッシュレス決済の導入 ➤アプローチのガラスフィルムの貼替えによるガラス飛散防止及び景観美化 ➤手摺・階段・丸柱の錆取り塗替えによる宿泊棟の安全強化及び景観美化 ➤建具調査による不良箇所の修繕

収支結果

（単位：円）

	科目	予算額	決算額
①管理業務収入	利用料金収入	21,000,000	23,253,600
	指定管理料収入	194,972,000	194,972,000
	事業収入	4,642,000	6,578,266
	その他	1,580,000	1,868,972
	収入計	222,194,000	226,672,838
参考	内未収金		
②管理業務支出	人件費	64,700,000	68,027,348
	事業費	36,060,000	44,028,272
	管理費	121,434,000	137,396,874
	その他		
	支出計	222,194,000	249,452,494
参考	内未払金		
③管理業務収支(①-②)			△ 22,779,656
④自主事業収支			
⑤全体収支（③+④）			△ 22,779,656

利用者満足度	➤利用者（来場者）アンケート調査を実施 ➤満足度は、文化事業93.1%、貸館事業88.0%
今後における課題と改善方法策等　現状の課題	➤事業詳細を把握する職員の配置に偏りがある。 ➤利用促進、宿泊利用客獲得への取組 ➤施設・設備・備品の老朽化、経年劣化等への対応
改善方策等	➤職員配置の見直しや研修の充実による職員能力の向上 ➤観光連盟、旅行会社と連携した学生等の合宿や観光客等の誘致 ➤周辺事業所や県外の学校等に働きかけ、文化芸術活移動以外での利用促進、宿泊利用客の獲得 ➤優先順位を定めた修繕の実施

数値目標（利用者数）	年　度				
	目標値				

2　モニタリング評価表

総合評価	A

	評価項目 評価基準	評価	評価事項・指摘事項
管理状況	①人員配置及び職員研修の状況 必要な人員配置、従事員の教育や研修が実施されているか。	A	専門的知識や経験豊富な職員を各業務に配置するとともに、事務分掌表により責任や業務の適正配分を行っている。また、研修により職員の資質向上に努めている。
	②文書の管理状況 必要書類を適切に保管にし、取扱帳簿一覧等を作成しているか。	A	公益財団法人山口きらめき財団文書取扱規程を定め、それに基づき適切に保管されている。
	③経理状況 経理事務は適切か、指定管理業務と自主事業の区分がなされているか。	A	公益財団法人山口きらめき財団会計規程を定め、それに基づき適切に処理された。
	④設備・備品の保守管理状況 日常点検は適切に実施され、整備・修理・故障の履歴は管理されているか。	A	施設・設備を職員により毎日４回の巡視を実施し、その結果が記録されている。特定の施設・設備については、外部業者による専門的かつ適正な管理が実施されている。
	⑤清掃状況 日常清掃・定期清掃は適切に実施されているか。	A	外部の専門業者に委託し、適時適切に実施され、実施後は業務結果報告書に基づき立会により確認されている。
危機管理対策	⑥緊急事態等への対応 危機管理に関するマニュアルを策定しているか。緊急時の連絡体制が確立されているか。重要事項等必要な報告がなされているか。	A	施設安全管理等マニュアルを作成し、さらに緊急連絡網や行政機関等緊急連絡リストが整備されている。また、このことを全体会議により職員全員に周知徹底されている。
	⑦防犯・防災体制 防災訓練・マニュアルが作成され、鍵の適正管理・防犯設備・消防施設の点検等が行われているか。	A	全職員参加による消防訓練が実施されている。また、委託業者による点検のほか、職員による点検により危険個所や保安施設等の安全が確認されている。
	⑧個人情報の保護 情報漏えいを防止する仕組みが構築されているか。市の承諾なしに、業務を第三者に委託していないか。	A	公益財団法人山口きらめき財団個人情報保護規程を定め、個人情報取扱事務登録簿を整備し適切な管理が行われている。外部委託は、年度ごとの事業計画書に内容を記載し、市の承認を得ている。
サービス水準	⑨施設利用状況 利用者数等の目標は達成できたか。	C	施設の利用率について、本館棟、宿泊棟とも未達成となった。レストラン利用者により全体では利用者数が増加した。
	⑩サービス向上への取り組み サービス向上へ向けての取り組みが十分行われているか。事業について、適切な広報活動を行われているか。	A	外部研修への参加等職員の資質向上の取組を行っている。事業については、広報誌、ホームページ、SNS、ラジオ等様々な媒体を使用し、広報活動が行われた。
	⑪利用者満足度 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足度が得られているか。	B	文化事業は目標を上回る満足度となっているものの、貸館事業は目標値を下回る結果となった。
	⑫苦情・要望への対応 苦情に関する一件帳簿を作成するなど苦情内容が職員で共有できているか。	A	アンケートを実施し、協議により、提案・要望事項について可能な限り速やかに対応している。

≪評価区分・配点≫

	区分	評価基準	評価点
個別項目	A	適切に実施され、特に改善等を指摘する事項はない。	4
	B	概ね適切に実施され、指摘事項は軽微な事項に留まる。	3
	C	実施内容に改善を必要とするものが多く見受けられる。	1
	D	実施がされていない又は実施方法が適切でないなど大幅な改善が必要となる。	0

総合評価	A	B	C	D
	合計点数　40点以上	合計点数　30点以上	合計点数　20点以上	合計点数20点未満